



No. '21-4

(No.107)

Oct. 2021

ISGG NEWSLETTER

伊東市善意通訳の会

C O N T E N T S

1. 私の9.11・・・アメリカ同時多発テロ	会員 菊池善次郎	2
2. 七福神について (2) —伊東七福神めぐり—	会員 小西恒男	7
3. 狩猟とジビエ	事務局長 主原一雄	12
【事務局便り】		14
【編集後記】		15





私の9.11・・・アメリカ同時多発テロ

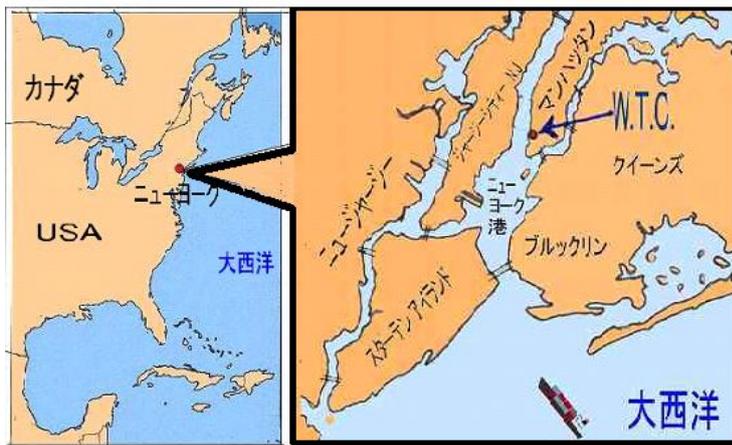
会員 菊池善次郎

「え、えっ？ 何これ？ うそっ。ドラマ？ NHK だよなあ」。

リビングルームのテレビにニューヨークの高層ビルが黒い煙を吐いて燃えているのが映っています。

「あっ、今、左のビルに何かぶつかったみたい！ビルから火を噴いたよ！！」。

私の傍でテレビを見ていた家内も叫びました。



ABC News photo より

2001年9月11日午後10時前（日本時間）。翌日は山梨県石和温泉に1泊旅行をするつもりで寝る前天気予報を見ようとテレビのスイッチを入れた途端、目に入ってきた映像にびっくりです。ニューヨークマンハッタンの世界貿易センタービル(World Trade Center)がテロ攻撃を受けたようだというNHKの緊急ニュースです。アメリカ同時多発テロ事件の発生です。ニュースは現場からの中継生放送の様です。マンハッタン南部に位置し世界一の高さを誇っていた2棟の高層オフィスビルがその中ほどの高さからモクモクと煙を吐いて燃えています。現地は朝の9時前。サラリーマンの出勤時間の最中まなかの事件です。

ビルの付近では大勢の人が空を見上げ、何事が起ったんだろうと燃えるビルを呆然と見ています。パ

トカー、消防車の動きも見えてきました。私は寝るどころではなくなりました。しばらくニュースに釘付けです。

だんだん分かってきたことは2機の大型旅客機がテロ組織に乗っ取られ乗客・乗員を道ずれに2棟のWorld Trade Centerビルに次々に激突した模様ということです。そして約1時間後、私は衝撃的なシーンを見ることとなりました。画面左側のビルが上の方から垂直方向にばらばらと崩れ出したのです。あっという間です。ビルは、あたかも水が水煙をあげて真下に流れ落ちるが如く、がれきが真下に吸い込まれる様に、もうもうと^{ふんじん}粉塵をあげながら崩れていき、跡形もなく全て消えてなくなりました。

ビルの近くで粉塵を浴びた多数の人々が逃げ惑う様子も映っていました。悪夢を見ている様でした。

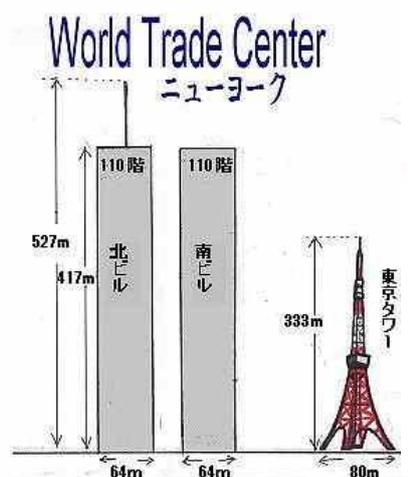
その30分後、更に残っていたもう一つのビルも同じ様に崩れ落ち消えてなくなりました。アメリカが誇る、ニューヨークのシンボル、World Trade Center 二棟のビル (Twin-Towers) は2つ共アツという間にその姿を消してしまいました。

その後のニュースによりテロ事件はニューヨークだけでなくワシントン国防省 (ペンタゴン) にも旅客機1機が激突したこと、更に又、他の旅客機1機がワシントンの北西郊外に墜落し大破したことも知りました。この飛行機はホワイトハウスを狙ったものだということが後日分かりました。

とうとう私は就寝するのが真夜中過ぎになってしまいました。翌早朝、予定通り車を運転し旅行に出かけました。ラジオからは頻りにアメリカ同時多発テロのニュースが流れていました。寝不足とテロ事件の衝撃的なシーンを見た後で快適なドライブとゆったり温泉気分を味わう旅という訳にはいきませんでした。

1. 世界貿易センター 5031号室 One World Trade Center, Suite 5031

アメリカ同時多発テロ事件発生の28年前(1973年)、私は会社のニューヨーク支店に勤務していました。オフィスは出来たばかりのOne World Trade



City of New York Old Photo より

Center 北ビル 50 階 5031 号室です。110 階建てビルの丁度真ん中辺です。

眼下にハドソン川とニューヨーク港を見下ろす天空のオフィスでした。家族と住んでいた所は港を隔てた対岸のスターテンアイランド。日本からのお客さんがなく会社の船が港にいない時は車ではなく優雅にフェリーボートで通勤していました。自由の女神像前あたりからはマンハッタンの高層ビル群と中でも一際^{ひときわ}そびえる World Trade Center の Twin-Towers を眺めながらの毎日でした。

その思い出ある Twin-Towers が 9.11 で一瞬にしてこの世から消えて無くなったのです！

2. 私のニューヨーク航路

入社して最初の貨物船で欧州航路 1 航海。その後立て続けに 3 隻の貨物船で 5 年間ニューヨーク航路でした。1 航海日本から日本まで 3 ヶ月、ニューヨーク港は米東岸のメインポートだったので 1 航海に行き帰り 2 回寄港、5 年間で合計で 20 数回寄港した港です。その後コンテナ船や自動車専用船でも数回寄港しました。日本の



横浜や神戸に次いで親近感のある港です。

ニューヨーク港の会社の岸壁はマンハッタンに隣接したブルックリン地区にありました。

1960 年代のマンハッタン。会社の専用岸壁は写真左側のブルックリン地区にあった。(当時購入した絵はがきよりコピー)。

船の入出港のたびにマンハッタンの高層摩天楼群を見ることができました。1960 年代後半にはウォーターフロントでも World Trade Center ビル建設の噂が出ていたことを記憶しています。

世界一高いビル(当時)、ニューヨークの新たなシンボル、アメリカが世界に誇る World Trade Center。それは建築後わずか 28 年余りで全てが消えてなくなったのです。

3. ニューヨーク/ニュージャージー港湾局 (Port Authority of New York and New Jersey)

World Trade Center ビルの所有者は誰だと思いますか？ニューヨーク市？不動産会社？個人のお金持ち？などなど考えられるところですが、正解はニューヨーク州とニュージャージー州共同の公社、「港湾局」の持ち物です。要するに船の出入りや港の安全などニューヨーク港の管理・

運営を主な業務とする両州で作った公社の所有です（空港、橋、トンネルなどの管理・運営もやっている。ニューヨーク港は水域がニュージャージー州をも含むため両州共同の管理・運営となっている）。ビルは国内・国外の多数の企業や公社がテナントとなり運営されていました。

私の仕事は船が中心の仕事ですので当然ながら港湾局とは大いに関わりを持ち、特に当時コンテナ船時代を目の前に控え、まだリース契約の残っている会社の在来貨物船岸壁をどう処分するか、港湾局の人達とはいろいろ話し合わねばならない時でした。テロ事件の 28 年前の話です。

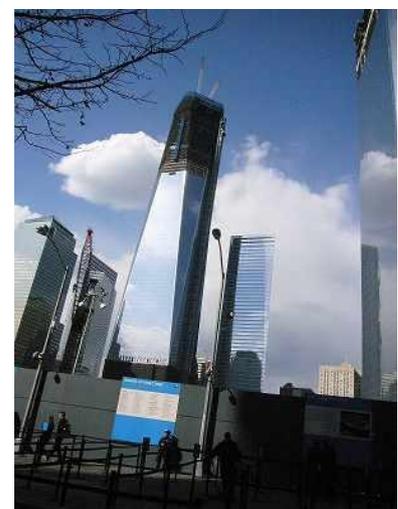
勿論、時は過ぎ、世代は変わり、9.11 で私の個人的に知っていた人が亡くなったとは聞いていませんが、当時のスタッフの後輩にあたる人達でしょう 76 人の港湾局の方々が犠牲になったと聞きました。

何かの形で犠牲者やその家族に哀悼の意を伝えることはできないか？と考えた時、“Twin Towers Fund” という寄付金を募っていることをインターネットで知りました。港湾局、消防署、港湾警察など公社に勤めていて犠牲になった方々の家族への寄付金（弔慰金）だということです。これに参加を決めました。早速会社の歴代ニューヨーク在勤船長を経験した 18 名の人にメールを出しお願いしました。諸先輩が多くいる中何故私が音頭をとったのか分かりませんが全員から賛同を得てお金が集まりました。静銀でニューヨーク市宛ての送金手続き。24 万円というわずかなお金ですが私たちの気持ちは伝わったと考えます。後日ニューヨーク市からお礼の手紙を頂きました。

4. Ground-Zero（爆心地）

2012 年春、家内とニューヨークへ旅し World Trade Center 跡地 (Ground-Zero) を訪れました。そこには昔を思い出す何物もありませんでした。建物は勿論あの巨大なエレベーターホールも地下の駐車場も、よく利用したコーヒーショップも、ビル入り口に続く狭い路地も、何もかも全くななくなっていました。

爆心地にはメモリアルパークが建設中で犠牲者の名前を書いた記念碑が作られていました。すぐ近くに新らしく建てた新



建設中の新 W. T. C.（2012 年撮影）

世界貿易センタービルがあと少しで完成というところでした。

新ビルの名称は昔の世界貿易センター北ビル（会社支店のあった棟）と同じ” One World Trade Center “とのこと。高さは旧ビルよりちょっと高く、多面形。体をよじった背の高い人を下から仰ぎ見る感じのビルでした。。私にはあまり興味のないビルです。

5. おわりに

今年、令和3年（2021年）9月11日はアメリカ同時多発テロ事件から丁度満20年。マンハッタン、ペンタゴン、ペンシルバニア（ホワイトハウスを標的とした飛行機が墜落した場所）ではバイデン大統領参列のもと大々的に追悼式典が催されとCNN ネットニュースが伝えていました。そのほか全米各地で9.11追悼イベントが行われたとのこと。

記録によると、9.11の犠牲者は次の様になっています。

- * ニューヨーク World Trade Center 2,606 人
- * 国防省（ペンタゴン） 125 人
- * 旅客機の乗客乗員（4機合計） 246 人

死者合計 2,977 人

犠牲者には24人の日本人が含まれています。幸い私の会社オフィスはテロ事件の約10年ほど前ニュージャージーに移転していたので犠牲者は出ていません。

9.11を契機にアメリカのテロとの戦い(War on Terrorism)が始まりました。アフガニスタン空爆、イラク戦争、アルカイダ/タリバンを攻撃、イスラム過激派との闘い、・・・。

それから20年経った今も世界のあちこちでテロ事件が頻繁に発生しています。アメリカの対テロ戦争は失敗だった？ そんな新聞の論調が多い様ですが、必ずしもそうとばかりは言えないと思います。兎に角、テロのない安心した世の中になることを願っています。

さもなければ9.11で無残に殺された人達は浮かばれません。Twin-Towersビルも。

七福神について（2）

— 伊東七福神めぐり —



会員 小西 恒男

伊東温泉七福神巡りは七福神が長い歴史を持つ6寺・1神社に祀られており、また、寺・神社が広く分散していることから日本各地で見られる七福神の中でも規模は大きいといえる。現在の伊東温泉七福神巡りの設定が昭和30年代に地元の歴史家、田上（たがみ）東平氏によって成立したことが知られている。

毎年1月には期間限定であるが、東海バスが「伊東温泉七福神巡り」を実施している。約4時間かけて七福神をめぐるバスツアーは大変人気を博している。

今回は各箇所の七福神について紹介する。

1) 松月院の辯財天

松月院（桃源山）は伊東駅裏、およそ700mの高台にある曹洞宗の名刹である。

辯財天の由来については、同寺のかつての大鐘の銘文が「伊東誌」に掲載されている。要約すると、



《正徳三巳年（1713）湯川村の老人が夢を見た。その夢の中に異人があらわれ云うのには、同寺の下の竹藪の中に赤く光を発する竹があるのでその根を掘れと伝えた。農夫は、単なる夢に過ぎずと打捨てていたが、次の夜も同じ夢を見た。そこで指定の竹林に入ると、はたせるかな赤く怪光を発する竹があったのでその根を掘ると金の像が出てきた。老農夫はこのようなものを個人が持つものでない、と松月院

に納めた》といった内容で、不可思議な辯財天の由来を伝えている。

辯財天は七福神中唯一の女神であるが、元来インド神話にあらわれる河川神であった。

美音天、妙音天、妙天音楽、大辯才天女などとも訳され、略して辯才（財）天などとも称される。音楽や弁説（知氣）の神として尊ばれ、わが国へは仏教とともに伝来した。

近世以降は七福神信仰が盛んとなり民間に浸透していった。辯才天は単に音楽や美や智識を司る神だけでなく水神としての信仰も厚い。漁村においても漁業神として広く信仰されている。

松月院にも水辺（池）と、すぐそばに辯天堂が置かれ、水神としても漁民の間で深く信仰されてきたようである。

松月院には医者であり歌人でもあった山本六丁子句碑「人と生まれ日本に生まれ月と花」、その弟子であった肝臓先生こと佐藤十雨の句碑もある。また、内山雨海の筆塚も文学碑めぐりのコースとなっている。

2) 朝光寺の大黒天

朝光寺は駅よりほど近い岡小川の高台に位置し、伊東の市街を眼下にする眺望絶景の地である。

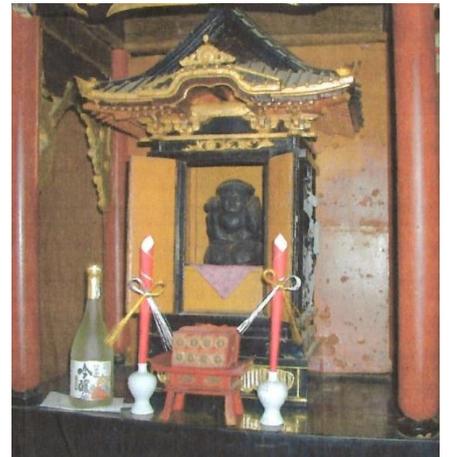
伝承によると、日蓮上人伊豆流罪の際、この大黒天像を時の住僧朝光に与え、朝光は感激したと伝えている。

開運、五穀豊穡の神、招福の神として地元民に信仰されている。

日本神話の中に出る大国主命（おおくにぬしのみこと）の「大国」がだいこくと読めることから

「大黒天」と同音とされ、習合したという説がある。

しかし元来インドの神で忿怒の形相をした恐ろしい戦闘神であった。ところが中国に入り、食堂を守護する神に変化していった。殊に天台宗が早く比叡山に大黒天を祀り、天台宗の展開と共に各寺院の食堂の神として広まっていった。また、農村などでは田の神として迎えられ米俵の上に乗る、打出の小槌を持つ大黒天像の姿が多いのは我が国独特である。

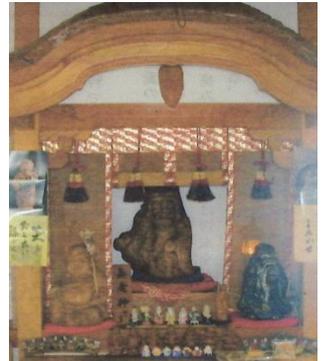


3) 最誓寺の寿老神

音無町宝珠山最誓寺（曹洞宗）、この寺に伊東七福神の一つ寿老神が祀られている。最誓寺は竹町最誓寺バス停より 150mのところであり、音無神社の社境が接している。

寿老神は長寿を授ける神で、鹿を連れた老人の姿に描かれている。

寺内には石墓としては伊東最古の五輪塔がある。伊東市一族の墓であるといわれ伊東市の文化財第1号に指定されている。最誓寺は伊東祐親の娘八重姫が配流の頼朝との間に生まれた千鶴丸の菩提を弔うために建立されたと伝えられている。



4) 東林寺の布袋尊

東林寺は伊東駅より二キロ、瓶山の麓に位置する。

布袋尊は市内馬場町曹洞宗稻荷山東林寺にある。

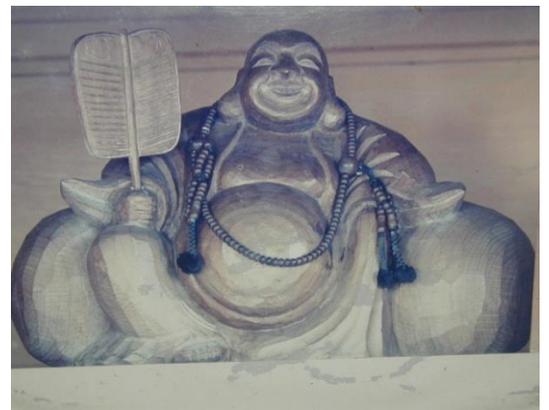
中国唐末期山東省にいた禅宗の名を契此（かいし）という僧であるという。禿頭で巨大な太鼓腹に、いつも半裸という風体。

寺に住まず杖と大きな布の袋を携え、袋の中に身の回りの持ち物

を入れて、旅を続けたことから布袋の名が出た。吉凶や天候を占ったという。

日本では七福神の一人とされ度量の神となった。人々の尊崇を受け、釈迦の没後、五十六億七千万年の後に現れ、衆生を救うといはれる「彌勒菩薩」の化身だと噂された。

布袋和尚の人気の高いのは大きな袋とふくよかな笑顔が大黒天と結びついたこと、「泣いて暮らすも一生。同じ暮らすなら笑って暮らせ。」といった楽天的な生き方が人々に「至福」の象徴として受け入



れられてきたことにある。

また東林寺は伊東家の菩提寺で殊に伊東祐親の位牌が祀られ、朝日山と呼ばれる山頂には子供の河津三郎祐泰の墓や孫の曾我兄弟の首塚がある。

更に相撲中興の祖として知られる河津三郎に因んで日本相撲協会による相撲塚も建立されている。

5) 佛現寺の毘沙門天

物見が丘海上山佛現寺、本堂左手奥に高さ2メートル30センチもある木造彩色の毘沙門天が祀られている。

佛現寺へは国道135号を下田方面に向かい、伊東市役所を通り左折すると大伽藍が見えるので直ちにわかる。



毘沙門天は本来インドの神でヒマラヤの山中に住んでインドの北を守る善神とされている。仏教に取り入れられてからは仏法を守護する四天王の一人として北方領土の任を担う守護神として祀られてきた。常に道を守って説法を聞くところから「多聞」とも呼ばれる。毘沙門天像は二匹の鬼を踏みつけ、左手に宝塔を持ち、右手に宝棒をささげるのが普通のものである。佛現寺で忘れてならないのは、日蓮上人が佛現寺下の毘沙門堂に起居し、約3年ここで暮らした事実である。佛現寺は「伊豆流罪の聖地」なのである。

6) 林泉寺の福祿壽

伊東市荻曹洞宗水東山林泉寺、古荻図を見ると「楽雁堂」という小さな庵が結ばれていたが、宮上最勝院六世僧覚隣により寺となったと伝える。つまり林泉寺の古名が楽雁堂である。この寺に福祿壽が祀られている。福祿壽は頭が異様に長く豊かな白髭をたくわえた



背の低い神で、長い杖を持っている。道教に起因する神で、中国の宋代に成立したといわれる。壽老神と同神異名であるともいわれる。

「福祿壽」という名前は道教の教えに由来しているといわれる。道教の理想は《福》幸運と子孫に恵まれること、《祿》金銭に恵まれること、《壽》長生きすることにある。

こうした三つの徳を具備するところから大変な人徳を持った神様であるとも言われ、また壽老神が鹿を伴っているのに対し、福祿壽は亀や鶴をなつかせていたと云われている。

林泉寺は別名をフジ寺とも呼ばれ、見事な藤の花を咲かせるところから市民に親しまれている。

昭和 45 年に静岡県指定文化財（天然記念物）に指定されている。

7) 新井神社の恵比壽神

伊東漁港を見下ろす高台に新井神社があり、ここに恵比壽神は祀られている。神社として唯一七福神の一つを祀っている。古く、この神社は、比留古神社といわれていたことから本来恵比壽が祀られていたことになる。明治 11 年諏訪神社などが合祀されて現在に至っている。恵比壽、恵比須、戎などとも書かれる。



祭神は蛭子命（ひるこのみこと）と事代主命の系統がある。

蛭子はイザナギとイザナミの最初の子であるが、生後 3 年経っても脚が立たなかったため、葦舟に乗せて流し捨てられた。これがエビスであるとする説である。

又、事代主命は大国主神の息子で、大国主神が天照大神の子孫に国譲りをした際に、自らもそれを受諾して姿を消してしまった。それを恵比壽神とする説である。

恵比壽神は狩衣に指貫、風折烏帽子をつけ、右手に釣竿、左脇に鯛を抱えている。農村、漁村や商家などの民間で信仰されるえびすは大黒と共に祭られ、全国に分布して信仰される。いずれも生業を守り、福德をもたらす神である。

日本ではその起源を古くから異人や遠く隔たったところに住む人を「えびす」とか「えみし」と呼んだ。

漁村では大漁の前兆となるクジラやイルカをえびすと呼んであがめ、えびすの神体を、浜に流れ寄ったり、網にかかった不思議な形の石としている。日本ではこのように他界から訪れる神がこの世に幸や福をもたらす客人（まれびと）信仰が強い。

本来、新井神社ではご神体である恵比寿神を人目（七福神巡りの客）に触れさせるということはさせなかった。そこで七福神巡りの案内を担当する伊東自然歴史案内人会が新しく恵比寿神を用意し客に見せるという提案をしたところ、神社も了承してくれた。

その結果、市内大手の I 石材店が恵比寿の石像を無償で提供してくれ、平成 25 年(2013 年) 12 月伊東市長他関係者を集め奉納式を行い、翌年 1 月からのお披露目となった。なお、場所は鳥居の階段を少し上った左手に設置されている。(上写真)

お正月の初詣を望む諸兄にはこの東海バス主催の「伊東温泉の七福神巡り」(バスツアー)を推奨したい。なにしろ(わずか半日で)一度に 7 つの福神様をお参りすることができるのだからご利益この上なしである。

狩猟とジビエ



事務局長 主原 一雄

日本では江戸時代までの不殺生を諫める仏教の教えの影響(?)もあり狩猟してその肉を食するという文化は一般的ではないですが欧米では広く根付いています。私の住んでいた米国ミシガン州では Deer Hunting の解禁日は北へ向かうハンター達で高速道路の I-75 が大渋滞(bumper-to-bumper という表現をよく使っていました)する程でした。又その時期は多くの Husband がいなくなるという事で Deer Widow という言葉もユーモアを持ってよく使われていました。レストランとかボーリング場のサインボードには Deer Widows、Welcome! 等を掲げ今でいう女子会(?)客を呼び込んでいました。又、ハンター達、ほとんどが男性、はシーズンが終わると今年は 2 ポインター(鹿の角の枝分かれした数)とか 4 ポインターを獲ったと自慢しあいます。獲った鹿はその場で内臓を取り出し血抜

きした後、ほとんどの場合肉加工業者で捌いてもらい、自宅の冷凍庫に保管します。ステーキ、ハンバーグ等、部位により捌かれますが、首の肉は最高のステーキとして珍重されます。角はそのまま飾りにしたりボタンとかに加工して楽しんでいました。又、皮は入れ物を作ったりジャケットにする人もいました。ジャケットを作るには2頭分の皮が必要で年に1頭しか獲ってはいけないので少なくとも2年かかります。Hunting Licenseは州に住んでいる人は数ドルだったと思いますがOut-of-state Feeは確か100ドル位はしたように思います。私もOne SeasonですがDeer Licenseを購入しました。そして多くのハンター達が手ぶらで終わるところ(多分3分の2以上)、幸運にも1頭仕留める事ができました。鹿はこれだけですがHuntingはその後、Small Gameと呼ばれるRabbit, Partridge, Pheasant, Quail等をしました。もちろんそれらの獲物の肉もおいしくいただきました。

9年前に伊豆に移ってきてゴルフ、山歩き、公園散策等を楽しんでいます。只、どこに行っても鹿や猪の食害を目のあたりにします。又、いろいろな場で個体数が増えすぎて自然体系への悪影響について聞きます。只、それにも係わらず残念なのはそれらを広く食する文化がないことです。その文化が広まれば個体数もそれなりにコントロールされるようになるのではないのでしょうか。私も知り合いのアメリカ人からソーセージや肉団子の作り方を教わり楽しんでいます。できれば興味のある方々と一緒にソーセージを作り、食して楽しむ機会があればと願っております。



1970年米国ミシガン州にて

【事務局便り】

皆さん、どうお過ごしですか？ コロナ禍もやっと収まって来ていますが、冬に向かい再来も懸念されています。私達も POST-コロナというより WITH -コロナで今の生活をエンジョイする方法を見つけて行きましょう。我々が ISGG もガイドだけでなくコロナ禍でもできるいろいろなイベントを企画していきます。多くの皆さんと楽しんで行きたいですね。

又、10月20日のイチゴサロンに9年前まで伊東高校城ヶ崎分校でALTをしていた Monica Barbir さんが来られました。彼女はALT終了後フランスでPhDを取得し、去年より東京大学国際高等研究所の外国人特別研究員として再来日しました。伊東そして ISGG を懐かしんでくれ今回の訪問となりました。研究で忙しい中、我々との会話を楽しんでくれ、又の来伊東を約束してくれました。



Monica を迎えてのいちごサロン

【編集後記】

2年近く世界中に猛威を振るってきたコロナも、ここに来てやっと沈静化、日本では、この一か月余、感染者の数も少なくなり、終息に向かいつつあるようです。とはいえまだまだ油断は禁物、次の大波が来るのではないかと心配です。でも、街中の人通りも、そして車両の交通量もふえ、徐々に安心感が漂ってきているようですね。

我が善意通訳の会も、中止になっていた講演会の再開の検討など少しずつ活動ができるようになってい
るのはうれしいことです。

菊地さんの 9.11 に関する記事、私自身、深夜放送の突然の中断、慌ててテレビをつけ、高層ビルに飛行
機が突っ込んでいる異様な光景にびっくり、放心状態で見ていた 20 年前のあの深夜のことが思い出さ
れます。記事を読まれる皆様もきっとあの日の恐怖を改めて思い起こされるのではないかと思います。
特に、アメリカに長期滞在されていた菊池さんのお話はリアル感があります。

小西さん、前号にひきつづき、七福神のお話とても面白いです。なんとなく知っていたつもりでしたが、
奥が深いですね。この記事を手元に、改めて七福神巡りをしたくなりました。

主原さんのジビエのお話、早朝、我が家の近所もあちこち耕されたように黒土が盛り上がり、ハ
リネズミ、否、モグラ、否、猪ではないかと、もっぱらおしゃべりです。また、収穫しようとしたその
日に、トウモロコシ、サツマイモなどを完全に荒らされたというお話よく耳にします。ジビエが苦手な
私にはなんともいえませんが、やはり、猪、鹿などが自然体系へ悪影響を与えないよう、ある程度にコ
ントロールが必要なんですね。

すべてをコロナのせいにするのもどうかと思いますが、ステイホームが進み、なかなか出かけるチャン
スもなく、今回は、記事を頂くのが大変でしたが、会員の皆さま、いかにステイホームを過ごされま
したか？ 趣味のお話などなんでも結構です、皆様の投稿をお待ちいたしております。

いよいよ本年も残り少なくなりました。くれぐれもお身体に留意され、よい新年をお迎えになられるこ
とを祈願いたしつつ…。

(曾我廣子)

伊東市善意通訳の会 (ISGG)

会長 稲葉 尚子

(事務局) 413-0232

伊東市八幡野 1324-40 主原 一雄

e-mail : larryn@estate.ocn.ne.jp

<http://itosgg.info/>

(編集委員) 稲葉尚子、曾我廣子、加藤達雄